

条例案4件、単行案1件、補正予算案3件、当初予算案5件を審査しました。

家族の負担の軽減は

【問】今後、団塊世代の高齢化が進む中で、在宅介護する家族の負担を軽減する措置が必要と思うが、支援策等考えているか。

【答】従来、家族に対して「月5千円の介護慰労金支給事業」「介護用品支給事業」「ストレス軽減目的の家族介護者交流事業」を行っているが、28年度から新たに「在宅医療・介護連携推進事業」「生活支援体制整備事業」「認知症地域支援・ケア向上事業」の3つの事業を行っていく。

ねんりんピック2017の参加者は

【問】各競技の参加人数は。

【答】将棋約220名・グランドゴルフ約430名であるが、各県の多くの大会関係者や応援団が来場を見込んでいる。

待機児童の解消を

【問】横堀小学校の余裕教室を活用しての児童クラブ新設は画期的である。今後もこのような取り組みを推進してほしい。

【答】市と教育委員会で余裕教室の提供について基本協定を締結しており、今回は教育委員会と仙北支所の協力で、横堀小学校から広いスペースの提供を受けた。現在、八乙女児童クラブで待機児童が発生しており、豊川小学校・豊岡小学校の余裕教室の利用に向け、教育委員会や中仙支所と連携して取り組んでいる。

特定検診の会場は

【問】特定健診の受診率が伸び悩んでいるように感じる。検診会場は何カ所か。また、1会場何人の受信者を見込んでいるのか。

【答】西部地域13カ所、中央12カ所、東部9カ所である。受診会場では特定健診のほか、後期高齢者検診も行っており、合わせて1日1会場100人以上を目標としている。

川のまち歴史交流館整備事業の予算は

【問】予算額の内訳は。また、今後の予算規模は。

【答】土地取得費3400万円、解体整備費1600万円、調査費100万円となっている。29年度8500万円、30年度5700万円、31年度4千万円、その後800万円、100万円と計画している。

全国500歳野球大会の参加チームは

【問】参加予定12チームの選定基準は。

【答】県内4・県外8チームを見込んでいる、1県1チームにこだわらず、12チーム以上を目指したい。